

令和3年度 第1回学校運営協議会 記録

令和3年4月28日(水) 9:30~

南河内中学校 会議室

1 開会のことば(教頭)

2 学校長あいさつ(校長)

入学式で来賓として招待できず参加できず申し訳ない。今年度、新入生が96名入学し、全校生徒は234名になった。職員は28名。一人は消毒作業をやるスクールサポーター。感染症対策をしっかりと行い、今年度は教育活動についてできることをやっていく。昨年度、スキー学習はできなかったが立志式はできた。新1年生に若干不適応生徒がいるがどうか登校できている。部活動は今年度、支部大会を実施できている。保護者は入れない。練習試合は下都賀地区内でのみ。部活動の数を増やすのは難しいと4校校長で話し合った。来年度以降も同様。感染症対策をしながらも、生徒の活動を進めていく。子ども達は生き生きと活動している。今年度もご意見をいただきながら学校経営を進めていきたいのでよろしくお願いします。

●資料の確認(教頭)

3 自己紹介(各自)

委員長の決定。谷萩様

副委員長の決定。影山様。 よろしくお願いします。

4 任命書授与

校長から代表して谷萩様に。

5 学校運営協議会年間予定について(教頭)

第1回目4月28日(水)の学校運営協議会は本日。第2回目7月15日(木)の学校運営協議会は授業の様子を見て頂く。コロナの感染状況により変更あり。第3回目11月16日(火)は4校合同学校運営協議会。第4回目1月24日(月)は学校運営協議会。その他として、閉校式については3月19日(土)に本校にて行う。10月23日(土)閉校イベントを夕顔祭の中で行う。

6 協議事項

○委員長挨拶(谷萩様) 14分~

コロナ禍の中、詰めの一年となる。新たな学校の開校に向け、様々なことを検討していくことになるのでよろしくお願いします。

①教育目標について(校長)

(別紙「学校経営計画」より)

4校(小中学校)合同の学校教育目標としている。子ども達には地域の核となって関わり、地域を活性化してほしいと伝えた。小中のつながりを強めていく。努力点及び重点。「知」「徳」「体」それぞれについて。GIGAスクール構想により生徒一人一台タブレット配布の準備を進めている。学校行事や委員会活動では、考えて動ける生徒の育成。協働で頑張っていくことを生徒に伝えた。基本的な生活習慣は定着してきたが、感染症対策についても強化していく。立腰タイムにより気持ちのコントロールをしてから授業に臨む。地域とともにある学校作りを目指して、委員の方々にも意見をいただきたい。

(別紙「南河内中学校区 小中一貫教育グランドデザイン」について)

(別紙「パワーアップ・アクションプラン」について)

②教育課程編成について(教頭)

(別紙「学校概要」について)

学校概要の写真について。新校舎も3Fまでできている状態。校舎1階はすでに案内できる。

立腰タイムは毎朝1分間、生徒・職員ともに行っている。4校ともに行っている。年間授業時数については、昨年は4・5月は休校だったので、時数確保がたいへんであった。教育課程の再編や工夫を行い、指導内容を全て学ばせられるように努力をすることができた。今年度に支障はなかった。学校課題については、コミュニケーション能力の育成が主な内容である。各教科及び教員が工夫して学習活動を行っている。9年間を見通した、系統的な指導の実践は課題である。

学校行事については、昨年度できなかった体育祭を今年度は実施できる。南河内中学校体育祭の伝統を途切れさせることなく継続できたことは良かった。修学旅行については実施日は9月に延期。方面については様々な情報を収集し検討、決定していく。昨年度は福島県会津方面であったが、生徒の感想としては実施できて良かったとのことで、行事の大切さをあらためて実感した。今年度末には、引っ越し作業がある。

③学校運営等に関する質疑・応答

(影山様)

南河内中学校は特徴については？将来の進路を考えたときにまた地域に戻ってくるような子どもを育成したい。今何をすべきかの目標。子どもの芽を大きく育てたい、学校としてどう育てていくか。地域としての目標はどうか。地域としてみると学校の中でどのように教育活動を進めているのか？

(校長)

自分から自主的に、新しいことに挑戦する部分が弱い生徒が多いので、努力点としてやっている。子ども一人一人を見てみると、いろいろな考えを持っている。そこを伸ばしていく。自分自身をつくりあげていく学習は実施しているが、地域との結びつきについては現在のところ難しい。

(影山様)

地域や学校を大切にしている心を育てる教育が具体的にあるとよい。

(教頭)

昨年度の生徒の進路は進路が多岐にわたっていた。特に農業系の高校への進学希望者については、その理由を明確に伝える生徒がいる。他の学校では、とりあえず勉強して大学に行くという漠然的な目標が多いところである。地域に根ざして自分たちの立ち位置をわかっている。家族を大切にしている生徒が多い印象である。この地域の特徴は歴史である。地域を理解し、愛せる生徒。歴史との融合。教員も積極的に地域を知り、一緒に学ぶ。歴史館や風土記の丘など。

(田口様)

地域の思い入れが強いのは、先生方が南河内地区は歴史があるのが強みなんだということを教えてくれたから。自信が持てた。当時の先生方のおかげである。地域のつながりや結びつき、郷土愛を学ばせてもらった。

(影山様)

修学旅行で奈良の薬師寺に行き、下野薬師寺との関連を知り、地域の歴史について自分で調べて様々なこと知ることができた。歴史の強みは自信につながる。もっと表に出していいことである。

(谷萩様)

子どもを大切にしていくことは重要。地域に誇りをもたせる教育をもっと推進していきたい。人としてどう成長していくか。家庭教育も大切。

(星野様)

歴史は大切。薬師寺歴史観は結構テレビに出ている。ケーブルテレビやNHK等。瓦にはぶどう(シルクロードと関連)のデザインがあり、それをテレビで映してもらおうようにしている。地域との関わりの中で自然や歴史についてを知り郷土愛を育成していく。そのための仕掛けとしては、まず先生方から。

(塩濱様)

自分の学校は子ども達にとってはとても大切。

(教頭)

社会科だけではなく、全ての教員が取り組んでいくこと。歴史を知れば地域の風景の見え方が変わる。教科書に載っていないことも大切。そういった視点を持つこと。感じることを。教員には今日話合ったことを具体的に伝えていく。

- ④基本方針の承認
承認されました。

8 その他

①新校舎の建設について（教頭）

（別紙「校舎見取り図」より）

来年1・2月に校舎引き渡しになる。週一回の会議より、現在の進捗状況は20%である。建設の様子は生徒に見せたい。実施できるかは現在相談中である。現体育館1階は学童保育の施設となる。グランド工事は7～9月に行う。現校舎の南側は駐車場となる。5月完成予定。

②閉校記念イベントについて（校長）

（別紙「R3年度閉校記念イベント予定」より）

手作りのカウントダウンボード制作中。5月に完成予定。PTAと美術部で制作。10月に向けてメッセージボードの制作を計画中。イベントでの風船飛ばしは中学校だけでなく、地域の数カ所からも同時に飛ばす計画。PTAを中心に準備を行っているところである。閉校式は市で行う式典であるが、その後の2部についても実施内容を検討中。

（谷萩様）

生徒への見学の実施は良いことであるが、小学生はどうか？

（教頭）

今のところは中学生のみ。小学生は、移動の問題やヘルメットの件で難しい。建設の様子を見せることはキャリア教育の観点でも有用である。一般の方々への見学についても難しい。学校だけでは決められることではないので、市の総務課と相談。

（上野様）

市のホームページに校舎建設の進捗状況がアップされている。

（影山様）

なかなか用がないと市のホームページを見ることがないので、地域に紹介してくれるとよい。工事現場の見学は実際問題として、安全面の観点から難しい部分はある。

（上野様）

地元出身者として、下野薬師寺は誇りである。自分のふるさとをアピールした記憶がある。

③学校運営協議会だよりについて（上野様）

（別紙「学校運営協議会だより」から）

今年度学校運営協議会だよりを発行し、地域に活動をアピールしていく。

（谷萩様）

実際例については、本当なのかどうか？

（影山様）

内容は良いが、一般の方々にとって理解しやすいかどうか。「熟議」「協働」など。もっとわかりやすいことばで。学校運営協議会が決定の場ではないということ。

（上野）

学校運営協議会について、わかりやすく地域に伝えたいという意向。熟議ということばを使っているが、重苦しいものではないことを知ってほしい。

（上野様）

「熟議」ということばの使い方については今後検討していく。

（星野様）

表面はよいが、裏面は「熟議」ではなく「話し合い」に変更するという意見。

（上野様）

訂正後回覧してよろしいか。

9 閉会のことば（教頭）